

20015

タブレット型端末を用いたPCI オリエンテーションの実施と検証

【目的】現在当院ではPCI オリエンテーションに紙ベースのパスを用いている（カミオリ）が、説明を行う看護師からは「治療の内容がイメージしにくい」「パスと一緒にでは見づらい」等の声が聞かれていた。そこで、よりイメージしやすいように画像を駆使した資料の作成を考案し、タブレット型端末（iPad™）でのオリエンテーション（タブオリ）を試みたので報告する。【方法】1. 現行パスの問題点とタブオリの使用感を循環器看護師へアンケート調査。2. 患者の反応を簡易リサーチ。【成績】1：カミオリ時間は5～10分。利点：PCIの経験回数に合わせ説明できる。欠点：文字がたくさん書いてあり見づらい。初めての人はイメージしづらい。聞いていない・見ていない人がいる。2：タブオリ時間も5～10分。利点：患者にとってはイメージしやすいと思われる。欠点：アニメーションのタイミングはなれないと難しい。改善点：動画があるといい。3：タブオリに対する患者の反応：わかりやすい。実体験が回想されタブオリのほうがベター、など。【結論】カミオリとタブオリとで、施行時間に差は認められなかった。看護師、患者ともにタブオリの方が実際のPCIをイメージしやすいとの解答が得られた。今回のタブオリでは、紙パスに記載されている必要最低限の内容を網羅し、カミオリの欠点を補って治療をイメージできるように作成した。今後さらに看護師側の使用感や患者の意見取り入れ、動画像などを活用して完成度を高めていきたい。

| 評価1            | 評価2   | 評価3 | 採否       |
|----------------|-------|-----|----------|
| 発表日時 月 日 (第 日) | セッション | 会場  | 時 分～ 時 分 |

受付番号

演題番号